

発見！日本最大級の恐竜「丹波竜」

2006（平成 18）年、丹波市山南町に分布する篠山層群大山下層から日本最大級の恐竜タンバティタニス・アミキティアエ（通称丹波竜）の化石が、二人の地質愛好家によって発見されました。篠山層群は、地層の成り立ちや年代が国内最大の恐竜化石発見地層である北陸地方の「手取層群」（白亜紀前期）と似ていることから、専門家の間でも恐竜化石発見の可能性が指摘されていました。この発見を機に、2007（平成 19）年から大規模な発掘調査が行われ、大型の竜脚類恐竜とともに、他の恐竜類の歯化石、の卵殻化石、またカエル類やトカゲ類といった小型脊椎動物化石が多数発見されています。ちなみに、発掘は、河川敷で行われるため、雨が少なく、増水の可能性が低い冬季（12 月～3 月ごろ）しか行われません。

活動している火山がないのに温泉？

日本最古といわれる有馬温泉をはじめ、外湯巡りを楽しめる城崎温泉や源泉の温度が 98℃の湯村温泉など、兵庫県には多くの温泉があります。温泉は、地下水が地熱によって温められ、地層の割れ目に沿って上がってきたものです。つまり、火山が近くにあるところには温泉が湧き出しやすいといえます。なぜ、現在活動している火山がない兵庫県に温泉があるのでしょうか？兵庫県の地下深くにあるユーラシアプレートの下にフィリピン海プレートがもぐり込んでおり、その時に発生した熱により温められた水が、断層などの地居の割れ目に沿って上がってきていると考えられています。